

日本麻酔科学会第69回学術集会



## 共催セミナー L05

# PONV(嘔気・嘔吐)の管理

日時

2022年6月16日(木)  
11:40~12:40

会場

神戸ポートピアホテル南館 B1階  
ダイヤモンド(第8会場) \*100席

座長

山浦 健 先生  
九州大学大学院医学研究院  
麻酔・蘇生学 教授

演者

長嶺 祐介 先生  
横浜市立大学附属病院  
麻酔科学 講師

事前予約について  
学術集会HPにて事前予約を行っております。  
事前予約がない方は当日空席がございましたら  
先着順でご案内させていただきます。  
チケット・整理券等は配布しておりません。

共催  
公益社団法人日本麻酔科学会  
丸石製薬株式会社

## 共催セミナー L05

# PONV(嘔気・嘔吐)の管理

外科系手術全般の低侵襲化や、疼痛管理法の進歩により、術後疼痛管理の質は向上しているといえる。一方、術後嘔気(悪心)嘔吐(Postoperative Nausea and Vomiting; PONV)は、現在でも発生割合は多く、周術期の満足度低下に繋がりうる重要な合併症である。我々麻酔科医は、患者毎に綿密な対策を練る必要がある。

2020年に米国のPONVガイドライン改訂第4版(文献1)が公開された。本ガイドラインでの周術期PONV管理のフローは、(1)リスク因子の評価、(2)一般的なリスク軽減策の施行、(3)リスクの層別化、(4)層別化されたリスクに応じた予防法の施行、(5)PONV発症時の治療、から構成されている。

PONVの薬物的予防法や治療に際して、米国のガイドラインでは、5-Hydroxytryptamine (5HT)<sub>3</sub>拮抗薬がエビデンスレベルの高い標準的な予防法・治療法に据えられている。一方、本邦では長らく保険未承認であり、その保険適応が長い間望まれてきた。

このたび、2021年8月30日付で、5HT<sub>3</sub>拮抗薬のうち、グラニセトロンとオンダンセトロンが「術後の消化器症状(悪心、嘔吐)」に対して保険適応となることが厚生労働省より発表された(文献2)。

今後、本邦における現実的なPONV管理が大きく変化していくことが予想される。本ランチョンセミナーでは、周術期PONV管理の概要をレビューし、皆様の知識のアップデートになれば幸いである。

文献1: Fourth Consensus Guidelines for the Management of Postoperative Nausea and Vomiting.  
Anesth Analg  
2020;131:411-448.

文献2:<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T210831S0100.pdf> (2021年11月12日アクセス)

\* 2022年2月25日に「術後の消化器症状(悪心、嘔吐)」にて薬事承認が得られました。

共催  
公益社団法人日本麻酔科学会  
丸石製薬株式会社